

# 平成27年度ホタテガイ採苗通報(第10報)

平成27年5月26日



宮城県

気仙沼水産試験場 TEL:0226-23-6880 FAX:0226-24-2561  
 E-mail:kssuisi@pref.miyagi.jp  
 HP: http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kesenmuma-s/  
 Facebook: https://www.facebook.com/kesuishi  
 気仙沼地方振興事務所水産漁港部 TEL:0226-22-6852  
 水産技術総合センター TEL:0225-24-0138  
 県漁協各支部青年部・研究会

## 県北部～中部の全域で、採苗袋の投入時期です！

- ・ 県北部地区の気仙沼大島～岩井崎では、浮遊幼生数が前回よりも減少。なお、岩井崎の試験採苗器への稚貝付着は順調。
- ・ また、県中部地区の十三浜～女川でも、試験採苗器への稚貝付着は順調。また、女川出島の浮遊幼生数も前回より増加。

《調査結果の概要》 調査日:5月25日(前回調査日は5月18日)

- ・ 調査地点の表層水温は11.0～14.0℃(前回10.0～12.7℃)、10m水温は11.5～12.2℃(前回10.4～10.9℃)。
- ・ 県北部地区の岩井崎は、大型(付着期)幼生が11個(前回20個)、中小型幼生が20個(前回80個)と前回より減少。また、大前見(大島)と阿沼(大島)でも、大型幼生が3～4個(前回5～54個)、中小型幼生が1～13個(前回54～253個)と前回より減少。  
 一方、岩井崎の試験採苗器へのホタテ稚貝の付着(5/18～25の8日間)は954個で、前回(85個・5/11～18の8日間)よりも大幅に増加。
- ・ 県中部地区の出島(女川)では、大型幼生が27個(前回8個)、中小型幼生が182個(前回139個)と前回より増加。また、試験採苗器へのホタテ稚貝の付着は出島で522個(5/18～25)、寺間で338個(5/19～25)、大指で831個(5/19～25)と前回(出島180個、寺間24個)よりも大幅に増加。

表 浮遊幼生調査結果

調査海域 (調査月日)	水温(℃) 表層/10m	ホタテガイ浮遊幼生数 個体/m <sup>3</sup>		ムサキガイ他 幼生数 個体/m <sup>3</sup>	付着稚貝数 個体/袋 (投入日-回収日)
		250ミクロン以下 (小型～中型)	250ミクロン以上 (大型)		
岩井崎 5/25	12.5/11.5	20	11	61	954 (5/18-25)
大前見(大島) 5/25	12.6/12.2	13	4	70	
阿沼(大島) 5/25	12.6/11.9	1	3	26	
出島(女川) 5/25	13.0/ -	182	27	15	522 (5/18-25)
寺間(女川) 5/25	11.0/ -	-	-	-	338 (5/19-25)
大指(十三浜) 5/25	14.0/ -	-	-	-	831 (5/19-25)

「-」は欠測

次回の通報発行は6月2日頃の予定です。